

2030年のあるべき姿(ビジョン)



地域に根ざす沖縄の旅行会社として、当社は65年以上にわたり沖縄県民の皆様へ育てていただきました。そのなかで培ったつながりと、交流人口創出という旅行会社の機能を活かし、県民の皆様と一緒により良き沖縄を実現することが当社のSDGsです。【目標】沖縄を「世代を超えて・あらゆる命が栄え・すべての人が自分らしく・よく生きられる世界」にする。【重点的に取り組む領域】●地域主導型観光の推進:観光を通じてお客様・事業者・地域・環境の4者が共に栄える。●沖縄県内のSDGsリーダーとの連携:知恵を合わせ、沖縄県民を巻き込んで、SDGsを後押し。●ボラツーリズムや再生型観光の推進。●沖縄の低炭素社会化への貢献:カーボンニュートラルレンタカー事業、低炭素移動手段の活用、など。●沖縄の社会課題への対応:こどもの社会課題、地域活動の県民運動化、など。

認証期間において特に注力する活動・取組

取組概要	
経済	<p>"ビーチクリーンツーリズム"という新ジャンルを確立し、「行けば行くほど環境が良くなる」沖縄ならではの再生型観光を世界に提示する。</p> <p>沖縄の有人離島38島すべてをビーチクリーンツアーで訪問する「離島ビーチクリーンツアー」を中心に、沖縄まるごとゴミ拾いや県内のビーチクリーン情報の発信を通じて"ビーチクリーンツーリズム"を確立する。</p> 
社会	<p>教育界・自治体・経済界が参加する"地域活動プラットフォーム"を創出し、地域活動を県民運動化する。("責任ある観光"の素地にもなる。)</p> <p>沖縄県ユネスコ協会を通じて、学生のみならず市民ボランティア・協賛企業社員も含むSDGsパスポート運動を推進することにより、地域活動の県民運動化に取り組む。</p> 
環境	<p>2050年までに、「ガソリンオンリー車比率実質ゼロ × EV再生可能エネルギー充電」というカーボンニュートラルレンタカー事業を実現する。</p> <p>国・県の支援制度を活用したレンタカーのEV車とHV車の比率を拡大させ、2050年にはガソリンオンリー車実質ゼロを目指す。また、豊崎ステーションの太陽光発電について、EV充電需要に追いつくよう強化する。</p> 
ガバナンス	<p>こどもの居場所応援ビーチクリーン、および、沖縄の経済界によるこどもの居場所支援を促進し、企業の社会的責任として、体験格差は正に貢献する。</p> <p>居場所のこどもたちの体験格差の解消のためビーチクリーンを年間8回程度開催するとともに、こどもの居場所を支援する事業者を増やす取組を行うことにより、沖縄最大の社会課題である"こどもの貧困"に対応する。</p> 